



有限会社熊野養鶏様に対する 『114 サステナブルベーシックローン』の実施について

百十四銀行（頭取 森 匡史）は2026年8月31日（月）、三島支店取引先 有限会社熊野養鶏（愛媛県四国中央市 代表取締役 熊野 憲之）に対し『114 サステナブルベーシックローン^{（※1）}』を実施しましたのでお知らせします。

今回、有限会社熊野養鶏は、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs^{（※2）} に決めました。当行はお客さまの企業戦略に即した SPTs の達成状況に応じて貸出金利を優遇することで、目標達成に向けた動機付けを行い、サステナブル経営を後押しします。

当行は、今後も地域金融機関として、お客さまの SDGs や ESG への取組みを支援してまいります。

（※1）環境・社会課題の解決に資する取組みを、自社の実績を基準に目標値を設定し、達成状況に応じて貸出金利を優遇する当行独自のローン商品。第三者評価機関からのセカンドオピニオン取得が必要となる、サステナビリティ・リンク・ローンに比べ、多くの企業が取り組みやすい設定としている。

（※2）Sustainability Performance Targets（環境や社会課題に対しポジティブな影響をもたらす企業目標）

記

1. 企業の概要

会 社 名 有限会社熊野養鶏
所 在 地 愛媛県四国中央市妻鳥町 2243-1
業 種 養鶏業

【サステナブルな取組み】

当社は昭和30年の創業以来、純国産鶏「もみじ」が産む高品質なブランド卵「美豊卵」の生産・販売を行っています。「元気な鶏から最高の玉子が産まれる。」を理念に、独自処理水や自家製発酵飼料など安全・安心にこだわった飼育環境を整え、直営店舗「熊福」や自動販売機での直接販売・加工品の製造販売を通じて、地域に根ざした地産地消を推進しています。

今回、『売上高当たりの電力使用量の削減』を SPTs に設定することにより、環境負荷の低減に取り組み、持続可能な事業の発展をめざしてまいります。



2. SPTs について

売上高当たりの電力使用量の削減

以上